

1 年 技術・家庭科実践事例

1. 教科	技術・家庭科（家庭科分野）
2. 学年	第1学年
3. 題材名	考えよう！適切な商品の選択と活用（教育図書）
4. 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解する。 ○必要な情報を収集し、整理して、生活に必要な物資やサービスの適切な選択、購入及び活用ができる。
5. 学習指導要領との関連 （指導事項や内容）	<ul style="list-style-type: none"> ○「D身近な消費生活と環境」の内容(1)「家庭生活と消費」に関する実践事例である。Dの指導に当たっては、A～Cの学習との関連を図り、総合的に展開できるよう配慮すると示されていることから、「C衣生活・住生活と自立」の内容(3)アとの関連を図り、各自が製作した「布を用いた物」を事例として情報を収集し、正しく読み取り、活用するプロセスを実践的に学習できるように指導計画を工夫した。 ○「衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動が充実するよう配慮する」と示されていることから、思考力・判断力・表現力等を育むために、商品のCMを制作し、発表する活動やCMの発表から必要な情報を収集して考える活動を通して、言語活動の充実を図っている。
6. 重視した言語活動	<ul style="list-style-type: none"> ○情報を正確に読み取り、言葉や図表を用いて整理する。 ○記号やマークの示す意味を正確に理解する。 ○グループでの話し合い活動を通して、他者との違いを理解したり、自分の考えを深めたりする。 ○考えや話し合ったことを分かりやすくまとめたり、説明したりする。

7. 指導にあたって

中学生になって消費活動への欲求が高まり、ニーズよりもウォンツを優先させて買い物をしてしがちな生徒が消費生活に関心をもち、物資やサービスを選択、購入するときには本当に必要かどうか判断することが大切であることに気づき、様々な情報の中から必要な情報を収集・整理して、適切な選択ができる力を育てることをねらいとして、本題材を設定した。

消費者として自覚をもち、生活に必要な物資やサービスを適切に選択して、主体的に消費行動しようとする態度や購入したものを大切に使い、十分に活用しようとする態度を育てるために、各自が製作した「箸袋」を商品として販売する場面を設定し、CMの制作と発表を通して、適切な商品の選択や活用について考えさせることとした。「布を用いた物の製作」では、「箸袋」を完成させた後、【資料1】に示す「箸袋の自己評価票」により自己評価を行い、ここで用いた評価の観点を情報の一つとして、「箸袋」を比較検討する際に活用している。

言語活動の充実を図るため、CMの制作ではグループで箸袋の比較検討を行い、消費者のニーズに応える商品を売り出す際のセールスポイントを考えさせる。消費者の要望を反映して、商品の情報を分かりやすく正確に伝えるCMの制作ができるよう授業の展開やワークシートを工夫した。初めはデザインや価格などを優先しがちであるが、情報の収集と整理、商品の比較検討、グループでの話し合いやCMの制作、発表など、実感を伴って考えを深める学習活動を通して、目的や必要性を考えて買い物をすることや購入後は有効に活用することが大切であることに気付き、多くの情報の中から適切な情報を収集、整理して、よりよい商品の選択、購入ができる力を育てたい。

8. 学習指導計画（全4時間）

●言語活動充実のポイント

次	時	学習活動	指導上の留意点
I	1	1. Tシャツを購入する場合、各自、何を優先して選択するか考える。 2. 商品の情報を得るための方法や手段及び活用の仕方を知る。 3. Tシャツを購入するときに必要な情報を考える。 4. 繊維製品の取り扱い絵表示が示す内容を知り、箸袋の適切な扱い方を理解する。 【ワークシート①】	○最近、商品を購入した時のことを思い出し、自分の消費行動を振り返らせる。 ○広告やチラシ、カタログなど情報を伝える方法や手段の具体例を示して商品を選択するときに与える影響について考えさせるとともに、情報の読み取り方や活用の仕方を理解させる。 ●自分にとって必要な情報を言語化して確認し、情報の収集・整理やCM班での話し合いに役立てる。 ●取り扱い絵表示の特徴を捉え、絵表示から得られる情報を正確に読み取る。 [評価の観点] 【生活や技術への関心・意欲・態度】 身近な消費生活に関心をもち、自分の消費行動を振り返ろうとしている。 【生活や技術についての知識・理解】 情報を伝える方法や手段及び活用の仕方、繊維製品の取り扱い絵表示について理解している。

学習の前後で、商品購入の視点が変化していることに気付き、適切な消費行動をとる必要があることを知る。

II	2	<p>1. 自分と友だちの箸袋を評価し、絵や言葉を用いて、それぞれ、特徴やよい点、問題点を図に記入する。</p> <p>2. 比較して読み取ったことを記入する。</p> <p>3. 箸袋を購入するときに必要な情報と販売するときのセールスポイントを考え、発表し合う。</p> <p style="text-align: center;">【ワークシート②】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>情報を収集、整理し、商品の購入に必要な情報を見出すプロセスを身に付ける。</p> </div> <p>4. 【課題2】の記述をもとに、班ごとにCMで紹介する箸袋を決める。</p>	<p>○販売することを前提にして、「箸袋の自己評価票」【資料1】を活用し、縫い方や仕上がりの美しさ、丈夫さ、扱いやすさなどの観点で見直す。友だちの箸袋と比較して、違う点に気付かせる。</p> <p>○箸袋の役割を考えて、収集した情報や読み取った内容から、箸袋を選択するときにどんな情報が必要か考えさせる。</p> <p>●気付いたことや考えを整理し、箸袋の条件を考え、購入するときに必要な情報を簡潔にまとめる。</p> <p>●発表を聞いて、考えを深める。</p> <hr/> <p>[評価の観点]</p> <p>【生活の技能】 必要な情報を収集し、整理することができる。</p> <p>【生活や技術についての知識・理解】 商品の選択に関する知識を身に付けている。</p>
III	3	<p>1. 班でCMの内容を相談し、企画書を作成する。</p> <p style="text-align: center;">【ワークシート③】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・班で意見交換して、消費者が求める情報について検討し、セールスポイントを3つに決定する。</p> </div> <p>2. 企画書に基づいて、CMを制作する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>提示物 絵、記号、言葉を効果的に用いて、3色の色画用紙にセールスポイント（消費者に伝えたい商品の情報）を示す。事実を正確に伝えるために効果的な方法を考えさせる。</p> </div>	<p>○CMの形態、時間、提示してよいものなどの条件を説明し、趣旨を理解して、効率よく作業を進められるようにする。</p> <p>例) 時間：2分以内 提示物：色画用紙（3色）、箸袋</p> <p>○ワークシート②の記述をもとにCMの内容を考えさせる。機能性や使用方法、価格等について、消費者の要望を満たすよう助言する。</p> <p>●意見交換を通して、必要とする情報が人によって異なることに気づき、理由を交えて話し合い、考えを深める。</p> <hr/> <p>[評価の観点]</p> <p>【生活の技能】 収集した情報を整理し、適切に活用することができる。</p> <p>【生活を工夫し活用する能力】 収集・整理した情報を活用して、CMの制作について考え、工夫している。</p>

4 本 時	<p>1. CMを発表する。</p> <p>2. 各班のCMから情報を収集し、整理する。</p> <p>3. 箸袋を購入しようと思ったCMを選び、理由を記述する。</p> <p>4. 消費者として、どのような点に留意して商品を購入すればよいか、まとめる。</p> <p style="text-align: center;">【ワークシート④】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【課題1】</p> <p>必要な情報を◎、必要でない情報を△に分けて記入し、効率よく情報を整理する。</p> </div>	<p>○各班のプレゼンテーションが円滑に進行するよう、予め順番を決めておく。</p> <p>●各班のCMから、商品の情報を収集、整理して、選択、購入に必要な情報を読み取る。</p> <p>○箸袋を購入して活用するために必要な情報が含まれているCMを選んでいるか、課題1の記述から情報を正確に読み取るよう助言する。</p> <p>●商品を選択、購入する際の「意思決定のプロセス」について考え、記述する。</p> <p>[観点の評価]</p> <p>【生活の技能】</p> <p>商品の選択、購入及び活用について必要な情報を収集、整理することができる。</p> <p>【生活を工夫し活用する能力】</p> <p>収集・整理した情報を活用して、商品の選択、購入及び活用について考え、工夫している。</p>
-------------	--	---

【資料1】

点線部分を縫いますよ。点線部分を作品と一緒に縫いましょうね。

箸袋の自己評価票 1年()組()番 名前()

1. なみ縫いが2・3ミリで縫えた。	A	B	C
2. なみ縫いがまっすぐ縫えた。	A	B	C
3. かかり縫いが細かく縫えた。	A	B	C
4. 玉止めの位置が適切である。	A	B	C
5. 糸の処理が適切である。	A	B	C
6. ボタンの縫い方が正しく丈夫である。	A	B	C
7. その他(ししゅうなど)	A	B	C

A: 完璧です。 B: ちょっと雑である。 C: 大変雑である。

<箸袋を製作した感想>

<商品として消費者に一番に見てもらいたい部分とその理由>

学習活動	指導上の留意点
<p data-bbox="225 271 1374 349" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">収集・整理した情報を活用して、生活に必要なものを適切に選択し、購入する力を身に付ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本時の学習のめあてを確認する。 2. CM発表の打ち合わせ（リハーサル）をする。 3. CMを班ごとに発表する。 発表班以外の生徒は、CMから収集した箸袋に関する情報をワークシート④【課題1】に記入する。 <div data-bbox="264 819 772 972" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>必要な情報を◎、必要でない情報を△に分けて記入し、効率よく情報を整理する。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 4. 【課題1】の記述をもとに、箸袋を選択するとき大切に思う情報とその理由について考える。 5. 本時及びこれまでの学習を振り返り、必要なものを適切に購入するための意思決定のプロセスを確認し、そのために大切なことを考える。 	<p>○円滑に発表を進め、大切な情報を効果的に相手に伝えることができるよう、役割分担や使用する資料について、机間指導して確認する。</p> <p>○発表班以外の生徒は各自が必要な情報を確認して、消費者の立場で記入するよう説明する。</p> <p>○発表後、セールスポイントを紹介した色画用紙（3枚）を掲示して、各班のCM内容を確認し、比較できるようにする。</p> <p>●発表を聞いて、必要な情報を収集し、ワークシートに整理しながら記入する。</p> <p>○箸袋の役割や購入後に有効に活用することを考え、様々な情報の中から、必要な情報を適切に選ぶことができたか、発問して確認する。</p> <p>●ワークシートの記述をもとに意思決定のプロセスを確認し、商品を購入するときに意識することをまとめ、発表する。</p> <p>○消費者として自覚をも、学習したことを家庭生活で実践していくよう助言する。</p>
	<p>[評価の観点]</p> <p>【生活の技能】 商品の選択、購入及び活用について必要な情報を収集、整理することができる。</p> <p>【生活を工夫し活用する能力】 収集・整理した情報を活用して、商品の選択、購入及び活用について考え、工夫している。</p>